

会社の言う賃金水準ってナニ？

春闘も山場を迎えてきた。東海労本部は3月2日第3回団体交渉で一律6000円のベースアップ獲得に向けて粘り強い交渉を積み重ねてきました。

しかし会社は当初から月例賃金の引き上げに応じる気配を見せていません。会社は団交の中で「賃金水準は世間的に見ても既に相当高いレベルに到達している」「これ以上月例賃金や諸手当を改善する合理的、客観的な理由は見いだせない」と回答しています。しかし「賃金水準は相当に高いレベル」いうが交渉のやりとりでおかしな議論があるんですよ。

組合：高い水準と言うが、東証上場企業の年収ランキング300位にも満たない。

会社：いろいろなデータの取り方や比較の仕方が違うので何とも言えない。

ならば、「世間的に見て高いレベル」とはどこと比較したのかな？

また「月例賃金を改善する合理的、客観的な理由は見いだせない」というが純利益が今年度予想で3,000億円を超える額にも達するのに社員に配分しないとはどういうことなのか！

昨年の東証一部企業の年収ランキングを見てみよう。

売上高：1.6兆円（東証一部91位）

純利益：2,641億円（同19位）

年収：719万円（同467位）

純利益が19位でありながら、年収は467位とはどういうこと？これって月例賃金を改善する合理的、客観的的理由じゃない？